

西武信用金庫

POファイナンス導入

Tranzax(東京都、小倉隆志社長)と西武信用金庫(東京都、落合寛司理事長)は、電子記録再建を活用した資金調達「PO(パーチエイス・オーダー)ファイナンス」の導入に関する業務提携契約を結んだ。POファイナンスは、電子記録債権を活用し、受注段階での担保融資を可能にする仕組みで、前払金な

どの仕組みがない民間工事でも工事着手金として利用することが可能だ。

西武信用金庫は、中小企業庁の実証実験にも参加しており、POファイナンスの導入金融機関となることが決定した。POファイナンスは、受注情報を電子記録債権化すること、従来は難しかった受注時点での債権担保融資を可能にする。中小企業は現金払いよりも早く現金を得ることができ、運転資金が必要な仕掛中の資金調達を容易にする。